

令和6年度 園経営計画 足立区立千住あずま保育園

園長 荒井 佳代

1 園の経営目標

- (1) 保育目標「すくすく育て あずまっこ」笑顔あふれる園生活を通して 健康な身体 豊かな心、考える力を育てる。
- (2) 人への信頼感を育み、乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実を通して、保育の質の向上を図る。
- (3) 保護者や地域との信頼関係を築き、子育て支援の拠点園として、子どもの育ちを支える。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは一年を通して自然物に触れ、試したり工夫したりしながらじっくりと遊びこんでいる。また、主体的に環境に関わり体を動かして遊ぶ中で、心身ともに成長している。
- (2) 保育者は子どもの人権を大切に一人一人の思いに応答的に関わり、子どもの主体的な遊びや育ちの連続性を考え、環境を工夫している。
- (3) 保護者とは日々の会話やコドモンでお知らせする園の教育、保育内容を通して、子どもの育ちを語り合う機会が増えている。行事の参加も多く、園運営にもご協力いただいている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	一人一人の思いを受け止め、子どもの自己肯定感を育む。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもが安心して過ごせる環境をつくる。	ア 子ども個性や発達を尊重し、ありのままの姿を受け止め、受容的に対応する。 イ 自分を大切に、他者を大切に思う気持ちを育てる。
(2) 一人一人の人権を尊重した保育を行う。	ア 園内で人権研修を2回以上実施し、保育場面における具体的な事例を使って、保育者の関わりを学び合う。また、チェックリストを用いて人権感覚を磨いていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子どもが主体的に遊べる環境をつくり、豊かな感性を育む。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どものやりたいことが実現できる環境をつくる。	ア 自ら遊びを選び、試したり考えたり、じっくりと遊び込める時間や場、教材を用意する。 イ 子どもとの対話や姿を見取り、環境の再構成をする。
(2) 園庭の豊かな自然環境の中で、四季折々の遊びを楽しめるようにする。	ア 自然物と関わり、見て、触れて、五感を使って感じる子どもの気づきに共感する。 イ 四季に応じた自然環境を整えていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	年齢や発達に応じた多様な動きを取り入れた運動遊びを行い、体力の向上を図る。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 思わず体を動かしたくなる環境をつくり、大人も一緒に思いきり体を動かして遊ぶ。	ア 子ども発想や工夫を見守り、体を動かすことが楽しいと実感できる遊びを繰り返し行いながら、子どもの興味や意欲を引き出していく。 イ 1日2時間以上体を動かして遊べる環境をつくる。
(2) 発達の連続性を見据えた運動遊びを行う。	ア 36の基本動作を意識し、それぞれの年齢や発達に応じた多様な動きや遊具・用具を使った遊びを進めながら、子どもの発達を見通した運動遊びを実践していく。